

実施日	令和3年12月16日 3校時(10:45~11:35)		
場所	北海道札幌南高等学校 百周年記念館 研修室		
対象生徒	1年7組 40名(男子20名、女子20名)		
科目名	世界史 A		
単元名	世界戦争と平和		
単元の目標	帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。		
小単元の目標	単元の学習を通じて、帝国主義の「支配・被支配」の一面性に揺さぶりをかけることで、帝国主義という概念を獲得する。具体的には、帝国主義の時代、被支配の一面だけではなく、アジア諸国において民族意識の形成や主体的な社会変革が見られたことを理解する。また、この時代の事象が今日まで残存する問題の根底にあることを認識する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
【参考】歴史総合における単元との関連			
《単元》 大項目 B 近代化と私たち-中項目(3) 国民国家と明治維新-小項目(イ) 《単元の目標》 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。その際、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとする 《小項目の構造》 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、 ・主題を設定し、 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することにより ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。			

1、単元の指導と評価の計画(9時間配当)

【単元構成のイメージ】

①・現代とのつながりを認識する
支配-被支配の残存
世界の諸問題と帝国主義はつながっている

・帝国主義の学習前の認識を問う
・資料の読み取り→疑問(問い)

2~8時間目で学習した内容

あなたにとっての帝国主義とは何か?

②・問いに対する答え

・帝国主義の残存だと考えられる事例は?
※全て残存している事例を提示

・歴史評価

【評価のイメージ】

知識・技能
理解させ変容させるもの
→帝国主義時代のアジアの状況

主体的に学習に取り組む態度
つながりを認識させ、評価させるもの
→現代の諸課題と帝国主義

	学習活動	評価の観点			評価規準・方法
		知	思	態	
第一次 (1時間扱い) 本時	<p>①生徒が問いを表現して、追究する授業</p> <p>《課題①》単元の学習を進める前の時点での「あなたにとっての帝国主義とは何か」という問いに答え、ワークシートに記述する。</p> <p>《課題②》資料①～④は、帝国主義の時代について表した資料である。資料を読み取り、気になるところや疑問に感じたところを挙げてみる。</p> <p>《課題③》課題②を通じて、気になったことや疑問に思ったこと、導入で用いた資料 A～C で気になったことや疑問に思ったことをもとにして、思いつく限り問いを作る。 複数ある問いの中から、単元を通じて追究する問いとしてふさわしい問いを練り上げる</p> <p>《課題④》現時点での仮説を学習記録シートに記入する。</p>				<p>ワークシート</p> <p>【知】資料から情報を読み取り、まとめたりしている。</p> <p>【思】考察したことを踏まえ、問いを表現している。</p> <p>【態】仮説を立て、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>
【小単元を貫く問い】 帝国主義の時代にアジアはどのように変わったのだろうか。					
第二次 (2時間扱い)	<p>②急変する社会/帝国主義と世界分割 (38、39)</p> <p>【問い】 ①なぜ帝国主義という状況が成立したのだろうか。</p> <p>・【資料】 帝国主義政策をとることによる変化 (『帝国主義論』)、 【資料】 文明化の使命読み取り</p> <p>・資料をもとに予想をし、ワークシートに仮説を表現する</p> <p>・第2次産業革命、ヨーロッパ諸国が国外に資源と市場を求め植民地獲得が進行したことを理解する。</p>		●		<p>ワークシートの記述の変容から評価する</p> <p>【知】列強の帝国主義政策の特徴について理解している。</p> <p>【思】帝国主義政策の背景に着目して考察している。</p>
	<p>【問い】 ②帝国主義諸国はどのような国作りを進めたのだろうか</p> <p>・【資料】 イギリスの就学率の推移に関する資料 【資料】 アメリカの教室での風景に関する写真</p> <p>・資料をもとに予想をし、ワークシートに仮説を表現する</p> <p>・対外膨張に伴い、国民統合が進み、教育・軍隊制度・マスメディアなどで変化があったことを理解する。</p>	●			
	<p>③帝国主義と世界分割 (39)</p> <p>【問い】 帝国主義諸国はどのようにアフリカに進出したのだろうか</p> <p>・【資料】 セシル=ローズの風刺画 【資料】 ビスマルクのベルリン会議についての風刺画</p> <p>・風刺画をもとに予想をし、ワークシートに仮説を表現する</p> <p>・アフリカ分割とその過程で列強の対立が生じていたことを理解する。 ※列強の対立については次の単元で扱うので深入りしない</p>	●	●		
第三次 (2時間扱い)	<p>④南アジアの変動 (33)</p> <p>【問い】 イギリスの進出によって、インドはどのように変わったのだろうか。</p> <p>・【資料】 綿織物の輸出の変化に関するグラフ</p> <p>・資料をもとに予想をし、ワークシートに仮説を表現する</p> <p>・インドの植民地化の進行と、それに伴う社会の変化について理解する</p> <p>・植民地支配下のインドにおいて、民族運動が高まったことを理解する。</p>	●	●	<p>ワークシートの記述の変容から評価する</p> <p>【知】イギリスの進出によってインド社会がどのように変化したのか理解している。</p>	

第四次 (6時間扱い)	⑤東南アジアの変動 (34)				
	【問い】 植民地化によって、東南アジアの社会はどのように変化したのだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料】 東南アジアの植民地化の地図 【資料】 強制裁培制度 【資料】 ヨーロッパによる植民地後の主要輸出品についてのグラフ ・資料をもとに予想をし、ワークシートに仮説を表現する ・東南アジアの植民地化に伴う社会の変化について理解する 	●	●	●	<p>ワークシートの記述の変容から評価する</p> <p>【知】 植民地化によって東南アジア社会がどのように変化したのか理解している。</p>
	⑥動揺する中華帝国 (35)				
【問い】 列強の接近によって清はどのように変化したのだろうか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・【資料】 イギリスの対インド・中国貿易の推移のグラフ 【資料】 第2次アヘン戦争時のイギリス首相のコメント ・資料をもとにワークシートに仮説を表現する。 ・自由貿易体制の拡大を求めて、イギリスが清に迫ったことを理解する。 	●	●	●	<p>ワークシートの記述の変容から評価する</p> <p>【知】 列強の接近に対して清がどのように変容したのか理解している。</p>	
⑦明治維新と東アジア (36)					
【問い】 列強の接近に対し、日本はどのように対応したのだろうか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・【資料】 『ペリー提督日本遠征記』 【資料】 ペリーの来航経路に関する地図 【資料】 幕末・維新时期の年表 ・年表をもとに仮説を表現する ・幕末、明治維新から立憲体制の成立までの展開を理解する ・幕末対外交渉を評価する ※概略については中学校での既習事項と重複するので教科書およびスライドで簡単に確認する程度、幕末の対外交渉の評価をメインに据える。 	●	○	○	<p>ワークシートの記述内容から評価する</p> <p>【思】 アジアの他の国や地域の動向と比較し、幕末の日本の対応を考察し、表現している。</p>	
【問い】 近代化を果たした日本はどのように行動したのだろうか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・【資料】 『脱亜論』 読み取り ・資料をもとに仮説を表現する ・日本は脱亜入欧、帝国主義化を進めアジアに進出していったことを理解する。 	●	●	●	<p>ワークシートの記述の変容から評価する</p> <p>【知】 列強の接近に対して日本がどのように対応したのか理解している。</p>	
⑧東アジアの変革 (37)					
【問い】 日本の近代化はアジア諸国に何をもたらしたのだろうか					
<ul style="list-style-type: none"> ・【資料】 『日本変政考』 【資料】 『父が子に語る世界歴史』 ・資料をもとに仮説を表現する。 ・列強の接近に対し、近代化や民族意識の形成など、主体的な社会変革の動きがあったことを理解する。 ・日本の近代化がアジア諸国の独立、近代化運動を刺激したことを理解する。 	●	●	●	<p>ワークシートの記述の変容から評価する</p> <p>【知】 列強の接近に対して清がどのように変容したのか理解している</p>	

<p>第五次 （時間扱い）</p>	<p>◎単元の学習内容の概念化を図る授業 《課題①》「単元の初めに立てた、自らの問いに対する答えを表現する」 ・自らの問いに対する答えを作成する。 《課題②》仮説と答えを比較して、自分の考えがどのように変容したかを記述する 《課題③》「帝国主義の残存だと考えられる事例を選び、その理由を記述する」 ・今日まで残る帝国主義の影響について、無意識の帝国主義についても触れる（ケニアナイロビの写真） 《課題④》「あなたにとっての帝国主義とは何か」という問いに答え、帝国主義を評価する。 《課題⑤》新たに疑問が生じた点（問い）についてまとめ、表現する。</p>	○		○	<p>ワークシートの記述をもとに評価する 【知】 列強の帝国主義政策と。アジアの変容について理解している。 【態】 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して学習を振り返りながら課題を追究しようとしている</p>
-----------------------	---	---	--	---	---

2、本時案

(1)本時の目標

これから学習していく帝国主義について、単元を通じて追究する問いを表現し仮説を立て、見通しを持って学習に取り組むことが出来るようにする。

(2)展開

展開 (時間)	学習活動および生徒の反応 《》課題 ・ 学習活動 S 生徒の反応 T 教師の手立て	指導上の留意事項および評価基準 ・ 留意点 ◇ 評価基準 (評価方法)
<p>導入 (10分)</p>	<p>帝国主義を私事として捉える 《導入①》【資料 A】「2021 年 10 月 1 日時点でのある状況を示した地図（ワクチン接種率）」を提示し、何についての地図であるのか考える。 ・ 解答とそう考える根拠をペアで考える(説明・思考各 1 分) T：ヒントとして途中で【資料 B】「1 人あたり GDP」を提示する。【資料編】 p1 配布 T：「二つの地図の共通点を探してみ、その上で何の地図か答えを考えて」と提示する。 ・ 2 つの地図の共通点を考え、その上で【資料 A】が何の地図であるのか考える S：GDP が大きい国で割合が高い S：先進国で割合が高く、途上国では低い S：南米・中国の 1 人あたり GDP は高くないが、資料 A の割合は高い。 T：数名に当てて予想する解答を答えさせる。(1 分) S：識字率、就学率 S：携帯電話普及率 S：自動車保有率 S：上下水道普及率 S：わからない S：ワクチン摂取率 T：数名に答えさせた後、【資料 A】が「ワクチン接種率」の地図であることを示す。(1 分) T：現代と帝国主義の時代をつなげるため、【資料 C】「1902 年時点でのある状況を示した地図（1902 年の宗主国・被支配国）」の地図をスライドで提示し、手元の【資料 A】との共通点を考え、資料 C が何の地図であるのか考えさせる (1 分)</p>	<p>・ 帝国主義を私事として捉えられるように、多くの生徒にとって興味がありタイムリーな新型コロナワクチンに帰着させる。 ・ 生徒の思考が速く進みそうであれば、適宜時間を削減していく。 ・ 1 分経過を目安に資料配付 ・ 読み取りに苦勞するようであれば、地図の読み方について簡単に触れる。</p>

<p>10分経過</p>	<p>T:「地図中の青が A している国、オレンジが A されている国」と提示し、A に当てはまる語句を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A に当てはまる言葉を考える。(30秒) <p>S: 支配 S: 植民地支配</p> <p>T: 1902年時点で植民地支配をしている国、植民地支配されている国であることを示す。</p> <p>T:「〇〇主義」をスライドで投影し、〇〇に当てはまる語句を考えさせる。(30秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヨーロッパの国などが対外膨張して植民地や勢力圏を獲得する動きのことを何というか考える <p>S: 帝国主義</p> <p>T:「そもそも、なぜこれらの資料をみんなに提示したと思うか考えさせる。」</p> <p>T:「今日の世界の諸問題と100年前の帝国主義が、今日の世界の諸問題という形で現れている」</p> <p>T:【ワークシート編】配布 T:本時の到達目標の確認 「資料の読み取りをもとに、これから学習する帝国主義について、単元を通じて追究する問いを表現し、その問いに対する仮説を立てる。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 支配-被支配の関係から帝国主義という言葉を引き出す。 • 資料Aと資料Cを並べて提示する。 • 資料提示の意図を問い、世界の諸問題と帝国主義のつながりを認識させる。 • しっかりと考えなければ答えにたどり着けないような問いを立てることが本時のゴールであることを明確にする。
<p>展開(30分)</p> <p>13分経過</p>	<p>帝国主義について既存イメージの確認</p> <p>《課題①》単元の学習を進める前の時点での「あなたにとっての帝国主義とは何か」という問いに答え、ワークシートに記述する(2分30秒)</p> <p>S: 製品の市場、原料供給地としての海外領土を拡大する動き</p> <p>S: 先進国が軍事力で植民地支配を行う動き</p> <p>S: ヨーロッパなどの強い国が、アジアやアフリカなどの弱い国を支配して、人権などを侵害する</p> <p>S: 今日の経済格差などの原因になっているもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 帝国主義に対する認識(歴史評価)の変容を捉えるために、単元の最後に同じ問いに答えてもらう。 <p>◇知識・技能 単元の最後に変容を見て取るための素材とする</p>
	<p>帝国主義がどのような時代であるのか資料をもとに考える</p> <p>《課題②》資料①～④は、帝国主義の時代について表した資料である。資料を読み取り、気になるところや疑問に感じたところを挙げてみよう。</p> <p>【資料①】ヨーロッパによる植民地後の主要輸出品 【資料②】『イギリスの対中国貿易の推移のグラフ』および第2次アヘン戦争時のイギリス首相のコメント 【資料③】南京条約の条文 【資料④】『日本変政考』</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各資料を読み取り、気になるところや疑問に感じたところをワークシートに列挙する。(個人思考)(10分) 	<p>◇知識・技能 諸資料から様々な情報を適切に読み取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資料の読み取りそのものではなく、気になったところや疑問に感じたことを挙げるのがメインであることに留意して活動させる。 • 生徒の活動の様子を見ながら、活動時間を適宜変更する。

【資料①】（想定目安 2 分）

想定される読み取り

- S：特定のものの割合が高い。
- S：タイだけ食糧を輸出している。
- S：生活必需品ではないものの輸出割合が高い
- S：イギリス領マレーだけ鉱産資源を輸出している。
- S：農産物や鉱産資源の輸出に偏っている。
- S：モノカルチャー経済と関係がありそう

- S：食糧以外のものを輸出することになり、東南アジア社会ではどのような変化があったのだろうか。
- S：なぜ、農産物・鉱物資源ばかりを輸出しているのだろうか。
- S：タイは植民地になっていないのに、なぜ米ばかりを輸出しているのだろうか。
- S：食糧以外のものばかり生産して、食糧不足は起こらなかったのだろうか。

【資料②】（想定目安 2 分）

想定される読み取り

- S：イギリスの綿織物の中国向け輸出が伸びていない
- S：イギリスが貿易赤字になっている
- S：イギリス産業にとって海外市場の確保が重要であった

- S：なぜイギリスの綿織物の中国向け輸出が伸びていないのか
- S：なぜ海外市場の確保が大切なのか
- S：貿易が赤字なのに、なぜ海外市場が必要なのか
- S：輸出が伸びないことに対し、イギリスはどのような対策を行ったのか。

【資料③】（想定目安 3 分）

想定される読み取り

- S：清が港を開港している。
- S：香港がイギリス領になってる。
- S：清がイギリスに賠償金を支払っている
- S：特権商人の組合が廃止されている。
- S：清がアヘン戦争に負けた。
- S：商業に関する内容ばかり。

- S：なぜ港を開港させたのか
- S：なぜ香港をイギリス領にしたのか
- S：中国内で民衆の反発ははかったのか
- S：なぜアヘンを没収したのか
- S：なぜイギリスは中国にアヘンを売っていたのか。
- S：特権商人の組合を廃止すると、イギリスにどのようなメリットがあるのか。
- S：なぜ条約の内容が商業的な内容ばかりなのか。

・机間巡視をしながら、一つの資料で長時間とどまってしまっている生徒がいたら、時間配分にも留意するよう促す。

<p>25分 経過</p>	<p>【資料④】（想定目安 3分）</p> <p>想定される読み取り S：当時の中国は日本を手本にしようとしている。 S：インド・ビルマ・ミャンマーは国がなくなっている（植民地になってしまっている） S：タイは独立している S：ロシアが大国になった。 S：保守的で変化のない国は衰退している。 S：日本は新しい制度に改め国家が強くなった。 S：皇帝に対して政治変革を求めている。</p> <p>S：なぜ中国は日本を手本にしようとしているのか。 S：日本の新しい制度とはどのような制度なのか。 S：なぜタイが独立をしているのか。</p>	
<p>35分 経過</p>	<p>単元を通じて追究する問いを表現する 《課題③》 Step 1 課題②を通じて、気になったことや疑問に思ったこと、導入で用いた資料 A～C で気になったことや疑問に思ったことをもとにして、思いつく限り問いを作ってみる。（5分）</p> <p>想定される問い S：ヨーロッパ諸国は何を求めて植民地化を行ったのか S：アジアがとった行動はインドと中国・日本で異なるように思うが、アジアは植民地化に対してどのように対応したのか。 S：植民地になった国と、植民地にならなかった国の違いは何だろうか。 S：100年前のどのような要素が、今日の経済格差やワクチン接種の状況に結びついているのだろうか。</p> <p>Step 2 複数ある問いの中から、単元を通じて追究する問いとしてふさわしい問いを練り上げる（4分）</p> <p>想定される問い S：帝国主義にアジアはどのように対応したのか。また、なぜ今日までその影響が残っているのだろうか。</p>	<p>◇思考力・判断力・表現力 諸資料をもとに読み取った情報を、比較したり、相互に関連付けたりするなどして、多面的・多角的に考察し、問いを表現している。</p> <p>・単一の資料だけではなく、複数の資料を組み合わせるよう促す。</p> <p>◇主体的に学習に取り組む態度 資料を読み取り、考察し、表現した問いをもとに、自分なりに単元を通じて追究する問いを立てられている。</p> <p>【評価 A】 複数の資料を組み合わせ、学習課題を私事として今日の事象と関連付けながら、しっかりと考えなければ答えにたどり着けないような問いを立てている。</p> <p>【評価 B】 複数の資料を組み合わせ、しっかりと考えなければ答えにたどり着けないような、問いを立てている。</p> <p>【評価 C】 単一の資料から、簡単な問いを立てている。</p>
<p>45分 経過</p>	<p>立てた問いを共有し共通点を探してみる ・4人1グループを作り、お互いの問いを共有し（2分）、その上で共通点はないか検討する（4分）。 ・数名に当て、自分の問いを発表してもらったと同時に、4人の問いの共通点にも答えてもらう。</p>	<p>・他者の立てた問いに耳を傾け、自らの考えを広めたり深めたりすることを目的とする。 ・生徒の問いをもとにクラス全体での単元を貫く問いを設定するという想定でグループワークを行う。 ・展開次第では時間調整のため内容を削減する。</p>

まとめ (5分) 50分 経過	《課題④》現時点での仮説をワークシートに記入（3分） T：ワークシートを回収する	◇主体的に学習に取り組む態度 現時点での知識をもとに、自ら立てた問いに対して仮説を表現している。 ◇知識・技能 単元の最後に変容を見て取るための素材とする
------------------------------	---	--